

横浜市立南希望が丘中学校

授業の実施概要

日時	2022年11月1日	時間	50分	授業者	校長先生、がん経験者
人数	167名	場所	体育館	構成	知識+経験談
対象	中学2年生	科目	総合学習	講師	長谷川一男(P.23)

授業のねらい

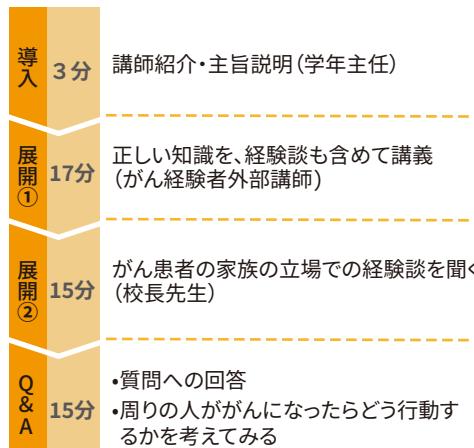
がんについて正しく理解することができるようになる。それを自分事ととらえ、備える意識を持つ。



経験談

がん患者の家族が講義。知っておけば役立つ知識や考え方を紹介し、がんに備える。

授業の流れ



授業で工夫されていた点

- 教諭と外部講師の役割分担
 - 校長先生ががん患者の家族という立場であつたことから、経験談を担当。身近な人の経験談を聞くことで、より興味を持つことができた。
 - 導入では、学年主任がスースを着用。命にかかることを聞くという姿勢を示した。
- 配慮

保護者にがん患者を持つ生徒は、本人の意思で参加。教師の見守りもあり、授業後も普段通りの学校生活が送れている。

横浜市立名瀬中学校

授業の実施概要

日時	2021年2月19日	時間	95分	授業者	教諭、医師、がん経験者
人数	177人	場所	教室(オンライン)	構成	知識+経験談+Q&A
対象	中学3年生	科目	特別活動	講師	福田 ゆう子(P.24)

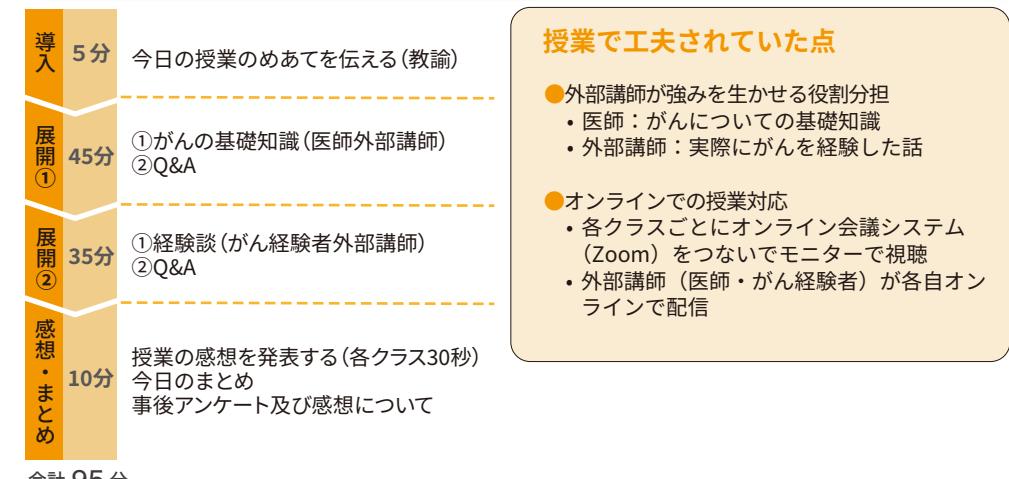
授業のねらい

①がんについて正しく理解することができるようになる。がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、正しい知識を身につけ、適切に対処できる実践力を育成する。

②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようになる。がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々の話を通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。



授業の流れ



授業で工夫されていた点

- 外部講師が強みを生かせる役割分担
 - 医師：がんについての基礎知識
 - 外部講師：実際にがんを経験した話
- オンラインでの授業対応
 - 各クラスごとにオンライン会議システム(Zoom)をつないでモニターで視聴
 - 外部講師(医師・がん経験者)が各自オンラインで配信

生徒の声 (一例)

- がんは最初パニックになってしまっても、正しい知識やイメージを持っていれば落ち着いて行動できるんだと思えるようになった。
- 今日の話を聞いてとても感動した。こんなにも身近な存在の人ががんになっていて、それを受け止めいかなければならないということを理解した。ほんとにいい経験になった。
- 実際にあった話をしてくれて、健康でいられることが本当に幸せなことなんだ改めて思った。正しい知識を教えてくださって、今まで自分が思っていたことが少し違つたりしたので勉強になった。

生徒の声 (一例)

- さまざまな病気を持った人の症状などを理解して、その人が生活しやすいような接し方について考えたいなと思った。
- がんのことを家族などに話をして、みんなで今からがんの対策をしていきたいと思う。
- 年齢に達したら必ず定期的にがん検診を受けて、早期発見に努めようと思った。
- がんだと分かっても「落ち込んだり、塞ぎ込んだりするだけでなく、良い人生を追いかける」というメッセージは多くの人に伝えることで今よりもがんになった人が暮らしやすくなったり、幸せでいられたり、周囲の人方がより良い支援をできる社会になることにつながると思う。